



**DH SYSTEM**  
大日本塗料株式会社

商品番号 1897

# エポニックス#3100APブロックフィラーEX-2

1. 一般名 エポキシ樹脂ブロックフィラー  
2. 規格 社内規格  
3. 特徴  
1) 耐放射線性、耐水性、耐薬品性にすぐれている。  
2) エポキシ系下塗塗料、上塗塗料との相互密着性にすぐれている。  
3) 作業性が良く、目やせが少ない。

## 4. 塗料性状

項目	内容				
容姿	2液性				
荷姿	20 kgセット (主剤: 12 kg、硬化剤: 8 kg)				
色相	グレー				
光沢	つや消し				
密度 (23°C)	塗料	—			
	揮発分	0.87			
加熱残分	67%				
乾燥時間	温度	5°C	20°C	30°C	40°C
	指触	24 時間	12 時間	8 時間	5 時間
	半硬化	48 時間	24 時間	15 時間	15 時間
	標準膜厚	—			
引火点	SDS参照				
発火点	SDS参照				
爆発限界 (下限~上限)	SDS参照				

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

## 5. 塗装基準

項目	内容				
下地処理	—				
調合法	主剤: 60 部、硬化剤: 40 部 (重量比)				
可使時間	5°C	20°C	30°C	40°C	
	3 時間	2 時間	1 時間	30 分	
塗装方法	金ヘラ、ゴムベラ、コテ				
使用シンナー	エポニックスシンナーB				
塗 装 法	塗装方法	ヘラ、コテ			
	希釈率	(原則として希釈しない)			
	標準使用量	—			
	標準膜厚	—			
	ウェット管理膜厚	—			
エアレス塗装条件	—				
塗装間隔	温度	5°C	20°C	30°C	40°C
	最小	48 時間	24 時間	15 時間	10 時間
	最大	5 日	3 日	3 日	2 日

## 6. 施工上の注意

- 被塗面のさび、油、湿気、塵埃、水分 (pH10 以下、含水率 10% 以下) その他の有害な付着物は完全に除去する。
- 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分攪拌して均一な塗料状態にする。混合比を間違えると十分に塗膜性能を発揮しないばかりか、塗膜が硬化しない事がある。
- 主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間以内に使い尽くすこと。硬化反応が進んだ塗料はシンナーを加えても使用できない。
- 余り塗装間隔が長くなると密着不良を生ずることがあるので、必ず規定範囲内で塗り重ねること。尚、規定以上経過した場合は塗膜表面をサンドペーパー等にて研磨し、更にウェスにて清掃してから塗装すること。
- 通常希釈を必要としないが、もし必要ならば 3% 以内の添加でエポニックスシンナーBを使用し、これ以外のシンナーは使用しないこと。

## 7. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	第 2 類可燃性固体	第 2 類可燃性固体
有機溶剤区分	第 2 種有機溶剤含有物	第 2 種有機溶剤含有物
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	—

ホルムアルデヒド放散等級: F☆☆☆☆

## 8. 使用上の注意 [警告]

- (1) 安全情報に関する内容は、SDSをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。